

平成20年11月7日

各 位

会 社 名 **スターツコーポレーション株式会社**
 代表者の役職名 取締役社長 河野 一孝
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 8 8 5 0)
 問い合わせ先 経理部長 村松 久行
 T E L (0 3) 6 2 0 2 - 0 3 7 7

平成21年3月期第2四半期末の「投資有価証券評価損」の計上ならびに平成21年3月期第2四半期累計期間および通期の「業績予想の修正」に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復の可能性があると認められないものについて、平成21年3月期第2四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

また、平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)および通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期末の投資有価証券評価損の総額

(1) 連結

(A) 平成21年3月期第2四半期末の投資有価証券評価損の総額	1,901 百万円
(B) 平成20年3月期の純資産の額 (A / B × 100)	20,056 百万円 (9.5%)
(C) 平成20年3月期の経常利益額 (A / C × 100)	6,281 百万円 (30.3%)
(D) 平成20年3月期の当期純利益額 (A / D × 100)	1,461 百万円 (130.1%)

(ご参考)

(2) 個別

(A) 平成21年3月期第2四半期末の投資有価証券評価損の総額	730 百万円
(B) 平成20年3月期の純資産の額 (A / B × 100)	11,095 百万円 (6.6%)
(C) 平成20年3月期の経常利益額 (A / C × 100)	1,185 百万円 (61.6%)
(D) 平成20年3月期の当期純利益額 (A / D × 100)	728 百万円 (100.3%)

2. 平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日~平成20年9月30日)の業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成20年8月8日発表)	51,000	2,100	1,500	350
今回修正(B)	52,950	2,700	2,350	880
増減額(B-A)	1,950	600	850	1,230
増減率	3.8%	28.6%	56.7%	351.4%

(ご参考) 前年同期実績

平成19年9月中間期	44,358	2,764	2,315	777
------------	--------	-------	-------	-----

【修正の理由】

売上高につきましては各事業がほぼ計画どおり推移しておりますが、建設事業における受注時利益率の改善やコスト見直しの効果、仲介・管理手数料等フィービジネス収入の着実な増加、分譲マンション「アルファグランデ篠崎」(東京都江戸川区:総戸数54戸)の早期販売等によって、営業利益が前回予想と比べて600百万円増の2,700百万円となる見込みであります。また、受取配当金等の営業外収益の増加に伴い、経常利益につきましては前回予想と比べて850百万円増の2,350百万円となる見込みであります。一方、米国発のサブプライムローンに端を発した世界的な金融収縮にはじまり、その影響を受けた日本の不動産市況の急激な変化によって、経営に行き詰る不動産事業会社がではじめるなど先行きの不透明感が高まっていくなか、当社グループが保有しております「スターツプロシード投資法人」投資口等、一部の所有有価証券価格が急激に下落し、評価の見直しを行いました結果、前項記載のとおり投資有価証券評価損1,901百万円の計上によって、四半期純利益は前回予想と比べて1,230百万円減の880百万円となる見込みであります。

なお、剰余金の配当につきましては、期初予定どおり1株当たり6円の間配当を実施する予定であります。

(2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成20年5月15日発表)	2,900	1,700	1,400	1,200
今回修正(B)	2,980	1,660	1,500	690
増減額(B-A)	80	40	100	510
増減率	2.8%	2.4%	7.1%	42.5%

(ご参考) 前年同期実績

平成19年9月中間期	3,313	2,015	1,938	1,863
------------	-------	-------	-------	-------

【修正の理由】

売上高、営業利益につきましては、ほぼ計画どおりに推移しており、また経常利益におきましては受取配当金等の増加に伴い100百万円増の1,500百万円を見込んでおりますが、当社が保有しております「スターツプロシード投資法人」投資口等、一部の所有有価証券価格の急激な下落に伴い、投資有価証券評価損730百万円の計上によって、四半期純利益は510百万円減の690百万円となる見込みであります。

3. 平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成20年8月8日発表)	117,000	7,700	6,800	1,600
今回修正(B)	117,000	7,700	6,800	250
増減額(B-A)	0	0	0	1,350
増減率	0.0%	0.0%	0.0%	84.4%

(ご参考) 前期実績

平成20年3月期	135,096	7,010	6,281	1,461
----------	---------	-------	-------	-------

【修正の理由】

基幹事業であります建設事業、仲介・賃貸管理事業をはじめ、各事業は計画どおり順調に推移しており、売上高につきましては前回予想からの修正はありません。また、営業利益および経常利益につきましても、第2四半期累計期間におきましては前回予想に比べて増益を見込んでおりますが、繁忙期となります第4四半期における販売経費等の増加、今後の為替相場の動向等を勘案し、前回予想からの修正はありません。当期純利益につきましては、前項にて記載のとおり、第2四半期末にて行います投資有価証券の減損処理によって、当期純利益は前回予想に比べて1,350百万円減の250百万円となる見込みであります。なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しておりますので、今後の第3四半期末および当期末の時価によっては、特別損失の額が変動する場合があります。

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A) (平成20年5月15日発表)	3,800	1,100	800	700
今回修正(B)	3,900	1,150	850	50
増減額(B-A)	100	50	50	650
増減率	2.6%	4.5%	6.3%	92.9%

(ご参考) 前期実績

平成20年3月期	4,453	1,832	1,185	728
----------	-------	-------	-------	-----

【修正の理由】

売上高、営業利益、経常利益につきましては、ほぼ計画どおり推移する見込みであります。前項にて記載のとおり、第2四半期末にて行います投資有価証券の減損処理によって、当期純利益は前回予想に比べて650百万円減の50百万円となる見込みであります。なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しておりますので、今後の第3四半期末および当期末の時価によっては、特別損失の額が変動する場合があります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上